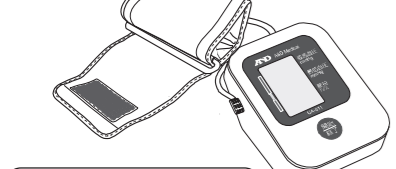


医療機器認証番号：225AHBX00020000

かんたん操作

血圧計のつかいかた

UA-611 取扱説明書
《上腕用》(保証書付き)



上腕の太さ:22~32cm

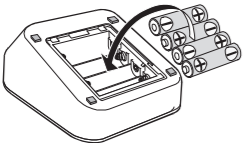
- この度はお買い上げいただき誠にありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 裏面最終項が保証書になっていますので紛失しないように保管してください。

1WMPD4002756 **特許 エアポート**

使いかた—かんたん操作—

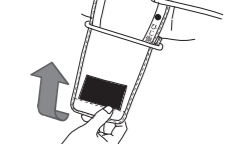
1 電源を準備する

☞5.電源を準備しましょう



2 カフを正しく巻く

☞6.カフを巻きましょう



3 エアプラグを血圧計本体のカフコネクタに差し込む

☞7.測定をしましょう



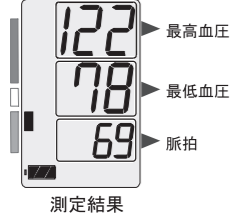
4 測定をする

開始/終了スイッチを1回押してください。
☞7.測定をしましょう



5 測定結果を確認する

☞10.血圧について



1. 安全上のご注意

〈必ずお守りください〉

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害(※1)を負うことが想定されるか、または物的損害(※2)の発生が想定される内容を示します。

- 1: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないケガ、やけど、感電などをさします。
- 2: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどに関わる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止 〇は、**禁止**(してはいけないこと)を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

図記号の説明 (つづき)	
強制	●は、指示する行為の 強制 (必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	△は、 注意 を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

● 一般的な注意事項

注意
測定結果をもとに、自己判断で治療しない/薬剤の服用および治療については医師の指示に従う
※ 守らないと、病気が悪化することがあります。
お子様だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
※ 守らないと、ケガ・事故の原因になります。

点検・輸血中の人は使用しない
※ 守らないと、体調不良を起こすことがあります。

長時間、繰り返して測定をしない
※ 守らないと、ケガ・誤測定の原因になります。

血圧測定以外の目的で使用しない
※ 守らないと、事故・故障の原因になります。

可燃性・支燃性ガスを使用する環境では使用しない
※ 守らないと、火災・故障の原因になります。

カフを腕に巻かない状態で加圧しない
※ 守らないと、故障・誤動作の原因になります。

衝撃を加えたり、落下させない
※ 守らないと、故障の原因になります。

強い静電気や電磁波に近づけない
※ 守らないと、故障・誤動作の原因になります。

測定中に携帯電話を使用しない
※ 守らないと、誤動作の原因になります。

専用のカフ以外は使用しない
※ 守らないと、誤測定・誤動作の原因になります。

分解・修理・改造はしない
※ 守らないと、火災・感電・故障の原因になります。

体内埋め込み型医用電気機器(ペースメーカーなど)を使用している人は、必ず医師とよく相談のうえ、影響のないことを確認してから使用する
※ 守らないと、体調不良を起こすことがあります。

腕部に重度の血行障害のある人は、必ず医師とよく相談の上、影響のないことを確認してから使用する
※ 守らないと、体調不良を起こすことがあります。

この取扱説明書をよく読み、理解してから使用する
※ 守らないと、事故・故障の原因になります。

加圧値が295mmHgをこえそうときは、開始/終了スイッチを押したときに測定を中止する
※ 守らないと、圧迫により腕に一過性の内出血を起こすことがあります。

手動加圧をするときは、この取扱説明書(☞7.2.手動加圧で測定する)を参照し、正しく使用する
※ 守らないと、圧迫により腕に一過性の内出血を起こすことがあります。

● 乾電池の取り扱いについて

注意
単3形アルカリ(またはマンガン)乾電池以外は使用しない
※ 守らないと、故障の原因になります。
新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない
※ 守らないと、故障の原因になります。
乾電池の+・-を間違えて使用しない
※ 守らないと、故障の原因になります。

● 乾電池の取り扱いについて (つづき)

注意
万一、乾電池の液が目に入ったときは、すぐに多量のきれいな水で洗い流す。必ず医師の治療を受けてください。
※ 守らないと、失明など障害の原因になります。
万一、乾電池の液が皮膚や衣服についたときは、すぐに多量のきれいな水で洗い流す
※ 守らないと、ケガなどの原因になります。
乾電池は、使い切ったら4個同時に新しいものと交換する
※ 守らないと、故障の原因になります。
長期間(1ヶ月以上)使用しないときは、乾電池を取り出しておく
※ 守らないと、故障の原因になります。
使用済みの乾電池は、お住まいの市区町村の指導に従い処分する
※ 守らないと、火災・事故の原因になります。

● 点検・修理について

注意
異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、点検・修理を依頼する
※ 守らないと、事故・故障の原因になります。

2. 血圧測定のまえに

● ご家庭での血圧測定の重要性

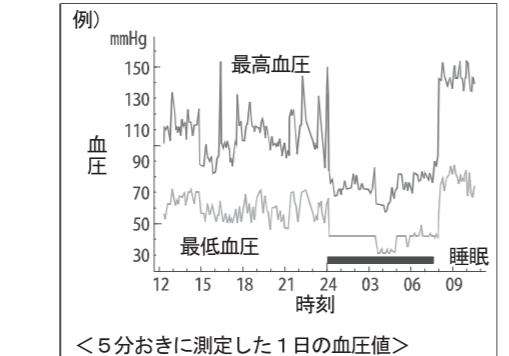
高血圧は症状が出ないため放置する人が多く、糖尿病や肥満、高脂血症などと合併して心臓病や脳卒中になり、どきや息切れなどの症状がでるようになってから身体の異常に気づくため、病状がかなり進行してしまっている場合があります。また、1年に1回の健康診断では、緊張から血圧値が高めに出ることが多く、1回の測定だけで高血圧かどうかの判断はできません。病気の早期発見や合併症の発症を抑えるためにも、普段から家庭で血圧を測定し、記録しておくことが大切です。早期の血圧や日内変動などを含め、通常の高血圧値を知り、生活習慣の改善や治療に役立てましょう。

● 血圧は常に変動しています

血圧は心臓の動きに合わせて一拍ごとに変動する大変デリケートなものです。1日のうちご自分では気付かないうちに、いろいろな状況に応じて30~50mmHgの変動をすることがあります。また、寒い時期は、体温の発散を防ぐために血管が収縮するため血圧が上昇しやすく、夏期は逆に血圧が低くなる傾向があるようです。こうした外的要因のほかに、ストレスや感情の起伏といった精神的なものが原因で大きく変化することがあります。つまり、測るときの状況で測定値に大きな差が出てしまうわけです。そこで、測定による誤りをできる限り防ぎ、正しい測定値を求めるためには、本人による継続的な測定が、たいへん重要になるわけです。

＜血圧を変動させる主な要因＞
1. 運動 5. 飲酒、喫煙
2. 興奮や緊張 6. 睡眠不足
3. 食事 7. 温度や環境の変化
4. 入浴 8. 肥満

測定のコツは、毎日同じ時間に、5分程度安静にしてから正しい姿勢で測定することです。また、日常の高血圧変動を知るには、定期的に起床時、食事前や就寝前など1日のうち何回か測定しましょう。これらの血圧情報は医師の診断に大役立ちます。血圧値の判断は医師にご相談ください。



●病院で140/90mmHg以上、家庭で135/85mmHg以上*の方は 高血圧とされています。
*日本高血圧学会 高血圧治療ガイドライン2009年度版

● 病院と家庭で測定した値が違う場合があります

医師や看護師に血圧を測ってもらっても、一時的に緊張して家庭で測るよりも20~30mmHg高くなる場合があります。自宅でのご自分の平常値を知ることが大切です。

● 血圧は正しい姿勢で測定してください

正しい血圧を測定するために次のことを心掛けてください。

- 背筋を伸ばして、姿勢よく座ってください。
- カフの中心が心臓の高さになるようにしてください。
- リラックスして、安静にしてください。
- 身体を動かしたり、おしゃべりをしないでください。



3. 確認しましょう

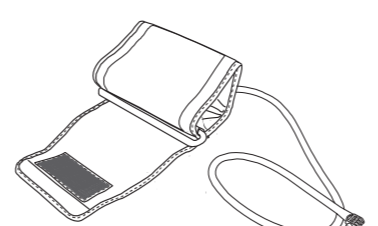
3.1. そろっていますか？

最初に、次のものがそろっているか確認してください。万一、不足のものがありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

1 血圧計本体



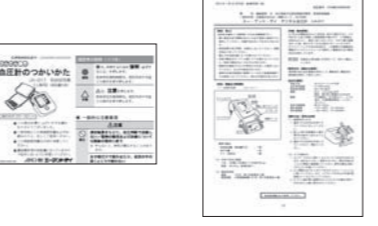
2 カフ (上腕の太さ：22~32cm)



☞お知らせ

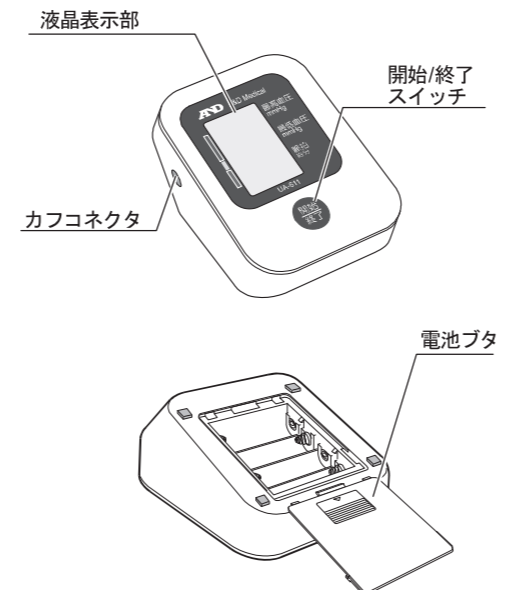
●カフは消耗部品です。

3 取扱説明書(保証書付き)・添付文書

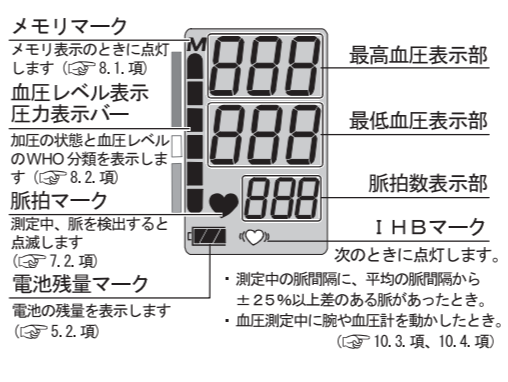
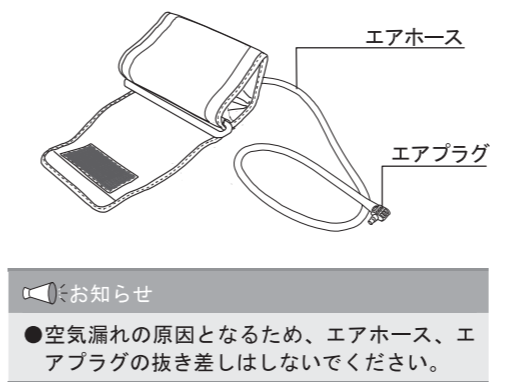


4. 各部のなまえと表示

4.1. 血圧計本体



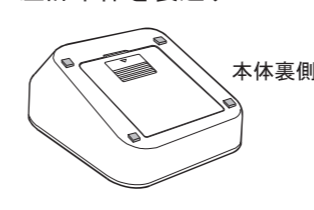
4.2. カフ・液晶表示部



☞お知らせ

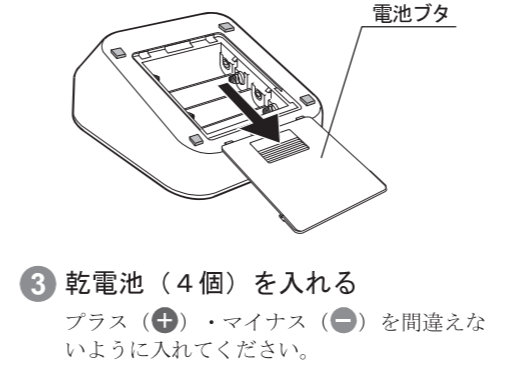
- 単3形アルカリ乾電池で約700回、単3形マンガン乾電池で約200回測定できます。(室温23°C、180mmHg加圧の場合)
- 電池の寿命は、周囲の温度により変わります。冬場など、気温の低いときには短くなります。
- 単3形アルカリ(またはマンガン)乾電池は、お近くの販売店でお買い求めください。

1 血圧計本体を裏返す



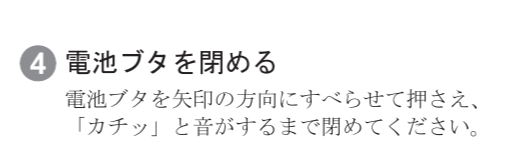
2 電池ボックスを開ける

電池ボックスを矢印の方向にずらし、開けてください。



3 乾電池(4個)を入れる

プラス(+)・マイナス(-)を間違えないように入れてください。



4 電池ボックスを閉める

電池ボックスを矢印の方向にすばらせて押し、「カチッ」と音がするまで閉めてください。



5.2. 乾電池を交換する

乾電池の交換は、液晶表示部の電池残量マークを目安にしてください。



電池残量マーク	電池の状態
☐	十分残っています。
☐	残りが少なくなっています。
☐	表示が点滅する場合は、新しい乾電池と交換してください。
表示なし	完全に消費しています。新しい乾電池と交換してください。

☞お知らせ

- 乾電池は4個同時に、4個とも同じメーカーの同じ種類のものに交換してください。
- 加圧中に☐が点滅または表示が消えてしまう場合は乾電池を交換してください。
- 乾電池を交換してもメモリは保持されます。

6. カフを巻きましょう

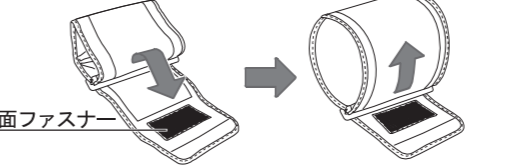
6.1. カフを巻く

- 素肌に直接巻いてください。厚手の着衣は腕まくりせず脱いでから巻いてください。
- 左腕に巻くことができないときは、右腕に巻いてください。
- 血圧測定は動脈の血液の流れを一時的に止めるまで圧迫する必要があります。人によっては圧迫による一過性の赤い跡が見られることがあります。時間とともに消えます。また、圧迫により一時的に腕に痛みやしびれを感じることがありますが、カフを外してしばらくすると治ります。

左腕に巻く

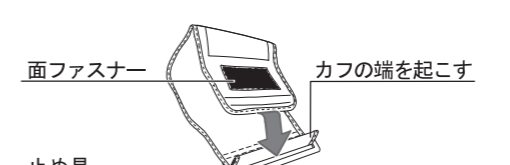
1 カフを筒状に広げる

面ファスナーをはがし、カフを広げてください。



☞お知らせ

●カフが止め具から外れている場合は、面ファスナーが付いている側を外側にし、カフの端を起こして止め具に通してください。

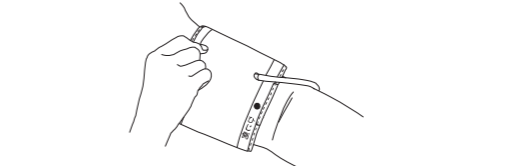


2 カフに腕をとおす

エアホースが手のひら側になるようにとおしてください。

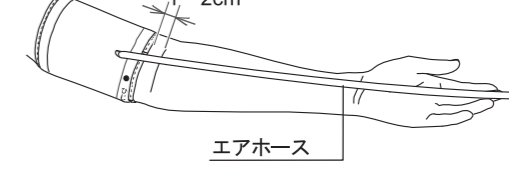


3 カフを上腕まで引き上げる



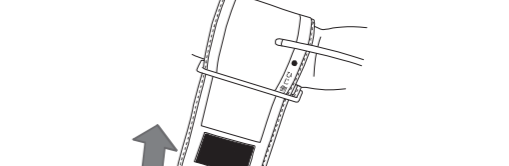
4 手のひらを上に向け、カフの位置を合わせる

手のひらを上に向け、カフの位置をひじの関節から1~2cm上側にあわせてください。また、エアホースを中指の延長線になるようにしてください。



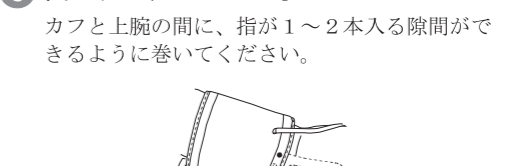
5 カフを巻きつける

カフの端を手前に引きながら、上腕に巻きつけてください。



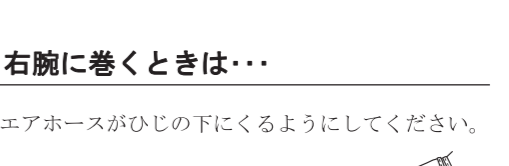
6 面ファスナーでとめる

カフと上腕の間に、指が1~2本入る隙間ができるように巻いてください。



右腕に巻くときは...

エアホースがひじの下にくるようにしてください。



☞お知らせ

●エアホースを、ひじてつばさないようにしてください。

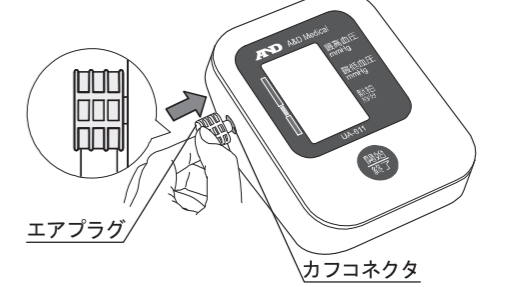
7. 測定をしましょう

7.1. 血圧を測定する

1 カフを正しく巻く

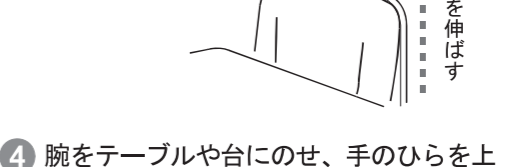
2 エアプラグを血圧計本体のカフコネクタに差し込む

エアプラグがカフコネクタに下図の通り差し込まれているか確認してください。



3 正しい姿勢で座る

背筋を伸ばし、体の力を抜いてください。

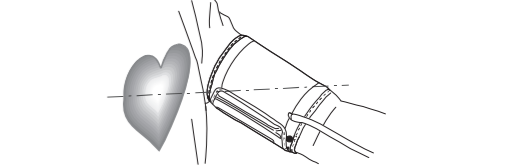


4 腕をテーブルや台にのせ、手のひらを上にしてかるく開く



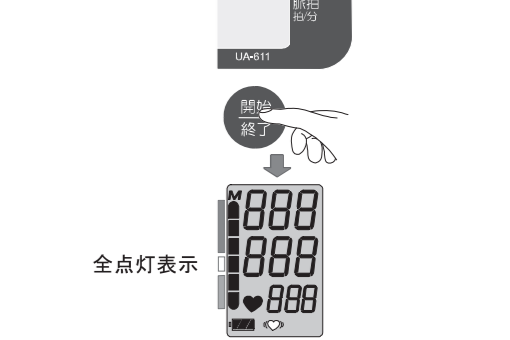
5 カフの中心が心臓の高さになるようにする

テーブルやイスの高さを調節したり、ひじの下にタオルやクッションなどを入れて調節してください。

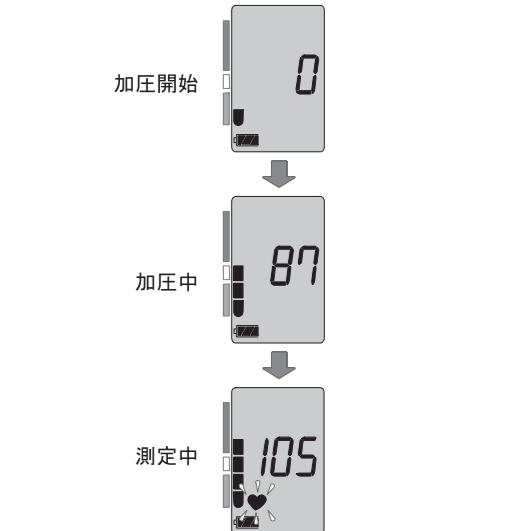


6 開始/終了スイッチを押す

電源が入り、全点灯表示が表示されます。



7 加圧をはじめ、測定が行われます



☞お知らせ

●脈を検出すると、心マークが脈にあわせて点滅します。

●測定中に加圧の不足や体動を検出すると、最高2回まで自動的に再加圧が行われます。
●最高血圧値が230mmHg以上と予想される時は、自動加圧設定では適切な加圧ができない場合があります。このような場合は手動で加圧してください。(☞7.2.手動加圧で測定する)

測定を中止したい場合、開始/終了スイッチを押してください。電源が切れ、カフの空気が抜けます。

測定結果を確認する
測定が終了すると、測定結果が表示され、カフに残った空気が抜けます。



9 電源を切る

開始/終了スイッチを押して電源を切ってください。

●電源を切り忘れた場合でも、スイッチを操作しない状態が約1分間つづく、自動的に電源が切れます。(オートパワーオフ機能)

☞お知らせ

●測定終了のたびにエアプラグを外す必要はありません。

